

医療と介護の連携の課題	左記の課題を便宜的に分類したもの									
	病院の窓口がわかりにくい等	入退院調整ルールを使っていない	入院セットの徹底	退院連絡不足	介護、医療それぞれの制度の複雑さ	人材不足、多忙等	在宅での看取り	独居、身寄り無、家族からの支援なし	守秘義務、個人情報保護の制約	その他
かかりつけ医の先生との連携が上手くできない。入院中の経過がわからない。急に退院と言われる。	●			●						
他の病院に入院された場合 連携しづらい。(密な連絡はあまりないので。)(状況見にくい) 人の支援についてはサービスを組み立てにくい。 病院からの依頼はそういうパターンが多い。	●					●				
入院したときに家族が誰に相談すればよいかわからないので、どうすればよいですか?と連絡をいただくことができました。 介護状態になる前にどうすることがよいか、今よりもっと介護予防の視点にズームアップしていく時代になるとよいかと思います。	●									●
窓口への連絡がとても緊張する。経験が浅く、相手に失礼にならないか等。	●									
病院間での連携のやり方に違いが多くある事が課題になりうらと思った。	●									
入院日や次の日にMSWが決まっていないことも多い。早く決まっていると、伝えたいことが早く伝えられる。	●									
医療に対してかまえてしまう。	●									
・病院の柔軟性をもっとあると、よりよい連携が行えると思う	●									
医療施設側の窓口	●									
それぞれの施設で対応方法が異なる。	●									
窓口がわかりづらい。	●									
忙しいかと思い、あまり医療連携シート(他職種連携シート)を活用していなかったと、反省しました。		●								
病状によっては医師との連携も欠かせず、主治医との連携にも力を入れていければ…と感じています。		●								
「医療と介護の連携」を活用と言われたが病院からは提示されたことが無い。グループ内でも受けたことが無い。 まずは病院から提示されたい。		●								
「入院セット」の普及状況について推進のための工夫について										
・身寄りのないケース			●					●		
・精神疾患あるケースの支援										
知らない間に退院している事がある。(入院時連携していても連絡なし) それぞれの病院の取り組みを知りたいです。				●	●					
急な退院受取依頼が一番大変と感じます。				●						
連携の大切さを感じます。				●		●		●		
身寄り問題について。										
スムーズに情報、意見交換が行えない。				●						
入院中に情報(退院に向けた)交換を行えたら退院後に入院時の情報と違うとならない。				●						
お互いの立場を理解した上で連携する。										
住み慣れた地域で最後まで暮らす事ができる環境。					●		●	●		
共生サービスについて。										
病院側の考えと、介護側の考えのちがいをうめること。										
地域ケア会議がどのような議題で行われているか?それを実施したことでの利点やメリットなど。					●			●		●
身寄りのない方を地域で支えるための話し合い。										
・とりかかり					●					
・どういう連携が考えられるかという本質的な部分からの知識不足					●					
制度の複雑さ					●					
(介護の現場から)介護保険制度での制約など医療の方の知識が少ない(?)					●					
忙しい中で、タイムリーに連携していくことが難しいと感じる。						●				
担当の方によって(医療機関)対応に差がある。視点の違いはあってもお互いに歩みよって協力していけるとありがたい。						●				●
障がいサービス、介護保険サービス利用										
ソーシャルワーカーさんによってもよく動いてくれるソーシャルワーカーさんと、そうではないソーシャルワーカーさんがいるので相談しづらい時があります。						●				
訪問介護事業所は必要性が高いがヘルパー不足で、担当ケースを受けて頂けないケースが多くなっています。どうしてそのような現象が起きているのか皆さんで考えたいと思います。						●				
在宅で医療ケアが必要な時、ケアをできる方がいないので自宅退院できないことがある。						●				
タイムロスがあること。						●				
三次救急、病院との連携、医師に直接話ができないため、細かいニュアンスが伝えられない(仕方ないですが…)						●				
タイムリーな対応が難しいことがある。						●				
連携は大事と皆思っているが、人員不足や認識の違いを感じることもある。						●				
顔の見える連携、関係性作りが課題だと思う。						●				
Drに直接の前段階に居てくれることがとても助かっています。在宅に戻られた時に在宅で亡くなられた場合を考えていく必要があること。							●			

医療と介護の連携の課題	左記の課題を便宜的に分類したもの									
	病院の窓口がわかりにくい等	入退院調整ルールを使っていない	入院セットの徹底	退院連絡不足	介護、医療それぞれの複雑さ	人材不足、多忙等	在宅での看取り	独居、身寄り無、家族からの支援なし	守秘義務、個人情報保護の制約	その他
遠慮なくMSWに連絡してくださいとおっしゃってもらって気持ち楽になりました。										
家族が精神的な疾患を抱えている事例								●		●
身寄りのない人（困難な人）の事例								●		
独居、低所得、身寄りがいないために介護サービスが思うように利用できないことについて。								●		
身寄りのない、独居の方の支援について								●		
独居の高齢者が増えていて、どういう暮らしをしているかが家族も把握できておらず退院後の方向性が見通しがつかない。家族の協力が得られない（介護力）が増えてきている。								●		
何日も議論、検討を重ねてくる中で、医・介のキョリがだいぶ近くなったと感じる。専門性を生かしつつも協働できる体制の構築は今後も大切。								●		●
独居、身寄りなしの方が増える中で施設一択でなく支えられる地域づくりが必要。その仕組みなどあれば実践きたい。								●		
独居、身寄りなし								●		
身寄りなし、独居の方支援、地域づくり								●		●
年一回医療と介護の連携研修会を実施しているが、それでは不十分であると感じています。										●
身寄りがいない人がすごく増えて地域でもHPでもそれぞれ苦労している所があると思うので、それぞれ何が課題になっているのか知りたい。										●
個人情報ということで十分な情報を得られないので調整できない。									●	
顔のみえる関係づくりを続けてもらいたいです。このような参集の会は今後も必要と考えます。										●
医療と介護との情報共有する機会が増えるといいと感じる。										●
今回のような顔のみえる研修会										●
温度差										●
普段から顔のみえる関係をつくること。										●
上小地区での連携は、このような機会を設けていただいているため連携がスムーズ。北信地区との連携はとてもハードルが高いと感じる。										●
施設系でも意見交換したい。										●
他職種連携は絶対必要です。										●
在宅生活を支える上で重要 書類、電話、面談等の相談と連携。										●
守秘義務や個人情報の保護をふまえたうえでの連携。									●	
本人の病状などによるが、病院で行っていた治療などが施設や在宅に戻る際どこまで可能なのか 継続していくのかなどの調整が難しい時がある。						●				●
人材不足						●				
多職種連携、チームワーク										●
処置をするにあたり傷の程度や状態を伝えるのは大変。写真等で確認できると良いと思う。										●
患者さんに対する情報提供									●	●
Drにも参加してほしい。薬剤師さんも入ってくれるといい。										
SWの勉強会もやってほしい何をもって好事例としますか？100%成功事例も失敗事例もないと思っていて、いかに当事者に寄り添うか、家族に寄り添うかたいていではないでしょうか？それを考えられるような地域になってほしいと思います。										●
病院様のハードルの高さは変わりませんが これからもへりくだりながら連携していきたいです。”認知症を支える”がきれいごとにならないためにできることは何かいつも考えています。										●
マイクの音量が適切ではなく全く聞きとれないことが多々ありました。難聴でしたのでききとれませんでした。すみません。										●
医療用語や専門用語が飛び交う場面があるので、みんながわかる用語、言葉を使ってもらいたい。										●
顔が見える中で連携が図れるとありがたい。										●
急に退院の依頼をかけられる。知らずに退院している等もあった。連携は取ってほしいと思っています…										
	11	3	1	4	6	12	2	11	3	25